

「北陸新幹線延伸計画再検証」請願への賛成討論

2026 年7月 21 日

公明党京都市会議員団

西山信昌(下京区)

公明党京都市会議員団は、請願第399号北陸新幹線延伸計画の再検証等の採択に賛成の立場を表明しています。私は会派を代表し、賛成の理由を述べ討論いたします。

松井市長のおっしゃるように、北陸新幹線は、首都圏と関西圏を結ぶことで、複数のネットワークを構築し、観光やビジネスなどの活性化や災害に対するリダンダンシーの確保に重要な役割を果たす路線として位置付けられている国家プロジェクトであり、その意義は認められます。

しかしながら、京都市内を通る場合、地下水への影響や建設発生土への対応、工事車両による交通渋滞、京都市財政への影響に加え、文化・歴史的建造物等への影響などの懸念を市長は示されています。我が議員団の各議員も市民の皆様からこういった懸念の声を多数お聞きしており、今後の事業の推進にあたっては、市民や事業者の体感的な納得が不可欠であるとの考えは当然であると考えます。

そのためには、地下水の水量、水質、湧き水等への影響調査が事業実施主体において適切に実施され、示される必要があります。その上で、その調査結果が京都市の都市の持続性や市民生活に許容できるのか、本市が主体的に、独自に検証・調査することが必須です。

委員会では、京都市が主体となる独自の検証・調査の方法等について、詳細には示されませんでした。であるならば、今後、その方法に関し、十分な研究・検討が必要です。市当局におかれては、市民生活の安心・安全を守るため、必要十分な検証・調査に向けた準備を万全に進めていただきたいと思います。

また、京都市が将来負うことになる財政負担についても、将来世代に過度の負担を残すことにならないよう、精査・検証を行うとともに、その在り方について引き続き国へしっかりと意見を伝えるべきであります。

これらの思いは、本請願の請願者の思いと軌を一にするものと理解しており、本請願に賛成するものであります。

私ども公明党京都市会議員団も、京都の未来にとって最良の判断がなされるよう取り組むことをお誓い申し上げ、討論いたします。ご清聴ありがとうございました。